

## 題材名「人びとの暮らしと道具」

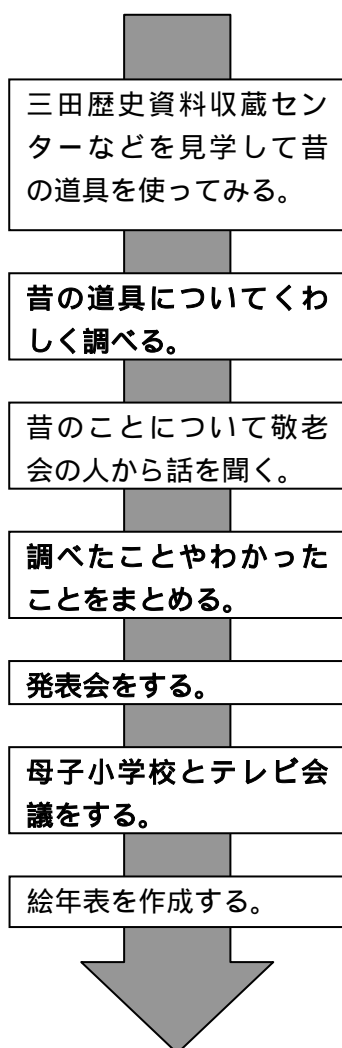
### 目標

- ・昔の道具を中心に暮らしの移り変わりを調べ、今の生活環境は昔の人たちの工夫や努力の上に成り立っていることに気づき、生活には知恵があることを理解する。
- ・昔の道具や暮らしの様子について調べたことを工夫して表現したり、市内めぐりで親交のあった農村地域の母子小学校とメールやテレビ会議で交流学習をしたりすることで、昔の人々の願いを考える力を育てる。

### コンピュータを活用する利点

昔の道具の特徴や工夫をつかむにあたって、祖父母から話を聞いたり、本や資料で調べたり、歴史資料収蔵センターなどを見学したりするなど以外に、ページを使って様々な昔の道具について調べさせることにより情報活用能力を育てたいと考えた。そして発表ソフトウェアを使って調べたことをまとめることにより情報を的確に処理し表現することができるようにしたいと考えた。また、メールやテレビ会議などの情報手段を活用し、自分たちの地域以外の学校とわかったことや考えたことなどを交流し合う中で、道具の進化の裏側には当時の人々の思いや願いがあり、それぞれが生活変化への原動力となっていることをとらえさせたい。

### 授業の流れ



### ICT活用場面

インターネットを利用して、指導者側が用意したいろいろな昔の道具のWebページを開かせた。(図1)そして、まとめた内容を児童用表現ツールで画像入りのWebページを作成し、クラスの中で発表した。課題意識を持って探求した内容をマルチメディアを活用し効果的に相手に伝えたいという意欲が工夫につながり、表現力を育むこととなった。(図2)また、1学期から交流をはじめていた母子小学校と、電子メールの交換やテレビ会議などの情報手段を活用して、お互いに調べた昔の道具を紹介し合うことにより、思考が深まったり、学習の質が高め合えた。(図3)



図1 インターネットで調べる



図2 発表する児童



図3 テレビ会議の様子

### 成果と課題

児童が調べまとめたことが、実際に大きな映像となって写し出されるため、発表に意欲的であった。まとめ方も短く、まとめやすいことから、自分の考えをコンピュータで表現したいという児童が多くなった。

### ICT活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン数台、プロジェクター数台 Webカメラ1台
使用ソフト名	Internet Explorer、Dr. シンプラーパレット Polycom Via Video
使用教室	普通教室およびコンピュータ室